

障害を持ったお年寄りの視点 を忘れないように

秦 洋一（日本医学ジャーナリスト協会副会長）

11月、12月部会は、「保険者の在り方」として①保険給付の内容、サービス体系など

②在宅と施設、利用者負担などを討議する予定になっており、部会員の了解を得ています。

しかし、障害を持ったお年寄りが、そもそも介護保険を作った原点です。この「介護保険部会」は、制度全体の大きな枠組みを検討するのが役割だと思いますが、ともすれば、被保険者よりも「保険者」の声が大きくなりがちです。

国の財源、ひいては介護保険の財源が非常に厳しくなっていることは確かですが、介護保険の受け手である被保険者、つまり市民は「十分な介護が受けられれば、保険料が高くなってもやむを得ない」という意見が相当強いのではないのでしょうか。

討議の中では委員からさまざまな意見が述べられるでしょうが、被保険者のことを片時も忘れないようにしたいと思います。